

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

| | |
|--|----------------------------------|
| 課題 | 行動・認知・神経科学の方法を用いた、人文学・社会科学の新たな展開 |
| 研究テーマ名 | 生きる力の認知神経科学的分析とその教育応用研究の創成 |
| 研究代表者 | 杉浦元亮 |
| 所属機関・部局・職 | 東北大学・加齢医学研究所・教授 |
| 研究成果の総合評点：B | |
| 研究成果に係る所見 | |
| <p>社会心理学的調査によって、被災後の「生きる力」に関して八つの因子を抽出し、それらの認知・神経科学的な検証・分析を行い、文理融合の成果をあげている。また、本研究に基づく「災害を生きる力質問紙」を教育プログラムに導入することで、量的な評価を行うことができ、現場の期待に応えているのは評価できる。震災時行動・経験との関係について、地震の揺れを感じた際の迅速な津波避難や、避難所での問題解決、心身の健康との関係が、現在公表済みである。残りについても報告されているが、データが未公表なのは残念であり、早急に公表をお願いしたい。分析については、神経科学的な解析への期待が大きい。さらに充実されることが望まれる。</p> | |

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い